



第25号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所
 靈 龜 山 九 島 禪 院
 〒550 大阪市西区本田3丁目4-18
 ☎06-583-2725
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)

大阪にオリンピックを！ 九条に中華街を！ 二十一世紀まであと二年！

ダイアナ妃伝説

高貴なる者の義務

今年最大のニュースといえ、ダイアナ元英国皇太子妃の非業の死でしょう。九月六日の初七日に行なわれた「特別な人のための特別な葬儀」の五・六キロの葬列には百万人もの人々が集まり、柩（ひつぎ）に別れを告げました。葬儀の様子は世界各国で同時中継され二十五億人が見たといえます。

ウエストミンスター聖堂での葬儀は英国国教会の形式にとられず、エルトン・ジョンの歌「追悼歌」キヤンドル・イン・ザ・ウインドは感動的でした。スピーチは感動的でもかすむほどの肢体、たぐいまれな美貌に恵まれたダイアナ妃の、華麗で数奇な運命に誰しも哀悼の念を抱きました。

十九歳で見初められ二十歳で結婚する、世紀のロイヤル・ウェディング、シンデレラ・ストーリーは、夫のチャールズ皇太子の愛人の存在の発覚で悲劇へと一変しました。泥沼の離婚騒動そして数々のロマンスが伝えられ、カメラマン「パパラッチ」に連日追いかけて廻されたあげ

くの非業の死。まさに「聖女伝説」ともいえるダイアナ妃への圧倒的な称賛が世界中に広まっています。

フランス語に「ノブレス・オブリージュー」という言葉があります。訳して「高貴なる者の義務」。高貴なる人間、社会的にステイタス（身分）の高い人間は、それにふさわしい倫理観や言動、振る舞いに大きな義務が伴うといった考え方を表明した言葉です。それを有しているからこそ、人々から尊敬される対象となるのです。

一九八二年に勃発したフォークランド紛争では、イギリスのアンドリュー王子は率先して戦艦に乗り込み、貴族であり国王の王子としての義務を果たしました。戦争においては貴族はいつも第一線に立つのです。軍隊における死亡率も、平民にたいして貴族の方が高いのです。

その点に関して言えば、ダイアナ妃には「ノブレス・オブリージュー」が欠落していたと言わざるを得ません。夫に愛人があるからといって、二人の王子

の母親として、数々のスキャンダルは許されていいのでしょうか。また、自動車事故の経緯をみるにつけて、たとえ王室を出たからといって将来の国王の母たる身としては許されるものではないかもしれません。「人間らしく生きよう」とすることの意味をはき違えてはいけなと思うので

イギリス国民の多くは、不倫行為をなじるよりも、「自分たちと同じように悩み苦しむダイアナ妃」に人間性を見いだしました。しかし、ダイアナ妃の立場を考えたとき、「ノブレス・オブリージュー」に照らして決して容認できないのです。多くの平民のおかげで貴族をしている者は、その分、社会に対して範を示す義務があるのです。

葬列の先頭を父親チャールズ皇太子と歩く二人の王子の顔に暗澹たる気持ちを抱いたのは小柄だけではなかったと思います



故ダイアナ妃 (享年36)

